

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

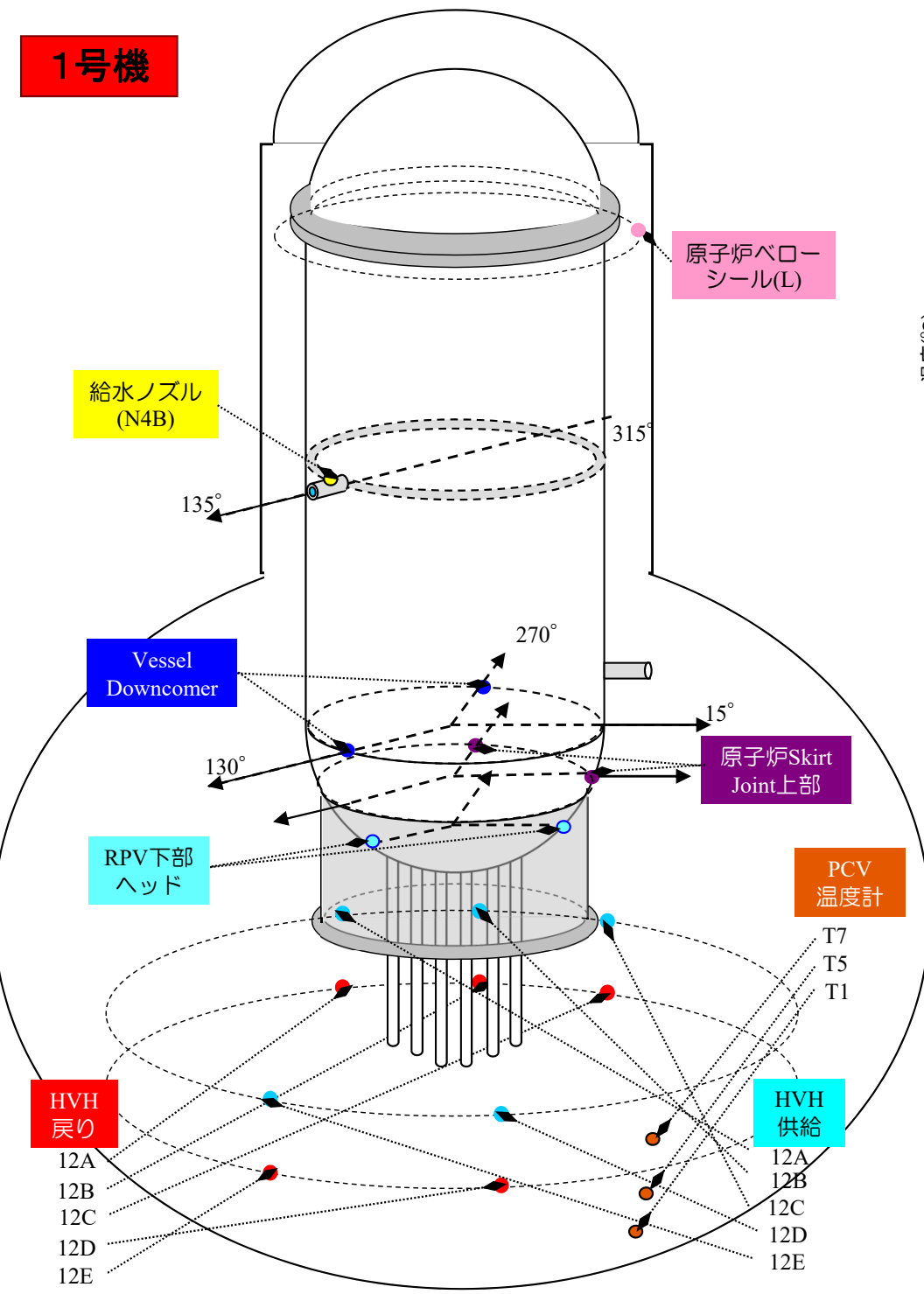
号機	1号機		2号機		3号機	
	10月28日	11月25日	10月28日	11月25日	10月28日	11月25日
原子炉注水状況	給水系：1.4m ³ /h CS系：1.4m ³ /h (10/28 11:00 現在)	給水系：3.0m ³ /h CS系：0.0m ³ /h (11/25 11:00 現在)	給水系：1.5m ³ /h CS系：1.5m ³ /h (10/28 11:00 現在)	給水系：1.5m ³ /h CS系：1.5m ³ /h (11/25 11:00 現在)	給水系：1.5m ³ /h CS系：1.4m ³ /h (10/28 11:00 現在)	給水系：1.4m ³ /h CS系：1.5m ³ /h (11/25 11:00 現在)
原子炉圧力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1)：24.4℃ 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1)：24.3℃ VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2)：24.2℃ (10/28 11:00 現在)	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1)：21.9℃ 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1)：21.8℃ VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2)：21.8℃ (11/25 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3)：29.5℃ RPV温度 (TE-2-3-69R)：27.7℃ (10/28 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3)：26.4℃ RPV温度 (TE-2-3-69R)：25.1℃ (11/25 11:00 現在)	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1)：28.9℃ RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1)：27.7℃ (10/28 11:00 現在)	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1)：26.3℃ RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1)：25.1℃ (11/25 11:00 現在)
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A)：24.5℃ HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F)：24.2℃ (10/28 11:00 現在)	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A)：22.0℃ HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F)：21.9℃ (11/25 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B)：29.6℃ SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1)：29.3℃ (10/28 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B)：26.8℃ SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1)：26.5℃ (11/25 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A)：29.6℃ 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1)：27.2℃ (10/28 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A)：26.9℃ 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1)：24.6℃ (11/25 11:00 現在)
原子炉格納容器 圧力	0.27kPa g (10/28 11:00 現在)	1.24kPa g (11/25 11:00 現在)	3.10kPa g (10/28 11:00 現在)	3.02kPa g (11/25 11:00 現在)	0.42kPa g (10/28 11:00 現在)	0.42kPa g (11/25 11:00 現在)
窒素封入流量 ※1	RPV (RVH-A)：-Nm ³ /h RPV (RVH-B)：15.50Nm ³ /h (JP-A)：15.00Nm ³ /h (JP-B)：-Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (10/28 11:00 現在)	RPV (RVH-A)：-Nm ³ /h RPV (RVH-B)：15.35Nm ³ /h (JP-A)：15.02Nm ³ /h (JP-B)：-Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (11/25 11:00 現在)	RPV-A：6.56Nm ³ /h RPV-B：6.74Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (10/28 11:00 現在)	RPV-A：6.59Nm ³ /h RPV-B：6.75Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (11/25 11:00 現在)	RPV-A：8.25Nm ³ /h RPV-B：8.47Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (10/28 11:00 現在)	RPV-A：8.30Nm ³ /h RPV-B：8.62Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (11/25 11:00 現在)
原子炉格納容器 水素濃度 ※3	A系：0.00vol% B系：0.00vol% (10/28 11:00 現在)	A系：0.00vol% B系：0.00vol% (11/25 11:00 現在)	A系：0.04vol% B系：0.04vol% (10/28 11:00 現在)	A系：0.02vol% B系：0.02vol% (11/25 11:00 現在)	A系：0.05vol% B系：0.04vol% (10/28 11:00 現在)	A系：0.07vol% B系：0.05vol% (11/25 11:00 現在)
原子炉格納容器 放射能濃度 (Xe135)	A系：8.00E-04Bq/cm ³ B系：1.11E-03Bq/cm ³ (10/28 11:00 現在)	A系：1.02E-03Bq/cm ³ B系：1.24E-03Bq/cm ³ (11/25 11:00 現在)	A系：ND(1.4E-01Bq/cm ³ 以下) B系：ND(1.3E-01Bq/cm ³ 以下) (10/28 11:00 現在)	A系：ND(1.4E-01Bq/cm ³ 以下) B系：ND(1.3E-01Bq/cm ³ 以下) (11/25 11:00 現在)	A系：ND(2.0E-01Bq/cm ³ 以下) B系：ND(1.9E-01Bq/cm ³ 以下) (10/28 11:00 現在)	A系：ND(2.0E-01Bq/cm ³ 以下) B系：ND(1.9E-01Bq/cm ³ 以下) (11/25 11:00 現在)
使用済燃料 プール水温度	25.6℃ (10/28 11:00 現在)	25.3℃ (11/25 11:00 現在)	24.6℃ (10/28 11:00 現在)	23.2℃ (11/25 11:00 現在)	21.4℃ (10/28 11:00 現在)	18.9℃ (11/25 11:00 現在)
FPC 水位	2.99m (10/28 11:00 現在)	3.40m (11/25 11:00 現在)	2.24m (10/28 11:00 現在)	4.40m (11/25 11:00 現在)	3.97m (10/28 11:00 現在)	4.04m (11/25 11:00 現在)

号機	4号機		5号機		6号機	
	10月28日	11月25日	10月28日	11月25日	10月28日	11月25日
使用済燃料 プール水温度	-℃ ※4 (10/28 11:00 現在)	-℃ ※4 (11/25 11:00 現在)	23.6℃ (10/28 11:00 現在)	20.9℃ (11/25 11:00 現在)	22.2℃ (10/28 11:00 現在)	18.3℃ (11/25 11:00 現在)
FPC 水位	6.72m ※4 (10/28 11:00 現在)	3.58m ※4 (11/25 11:00 現在)	2.70m (10/28 11:00 現在)	2.95m (11/25 11:00 現在)	2.80m (10/28 11:00 現在)	2.50m (11/25 11:00 現在)

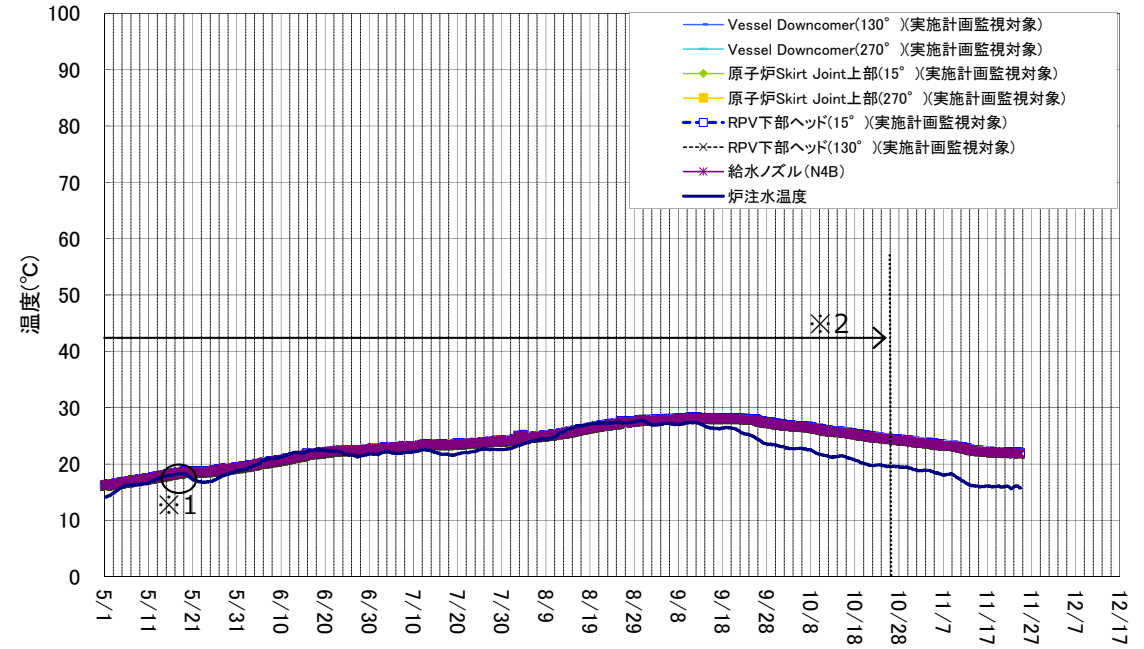
※1:使用状態の温度・圧力で流量補正した値を記載する
 ※2:窒素封入停止中
 ※3:指示値がマイナスの場合は0.00vol%と記載する。(水素濃度が極めて低い場合は、計器精度によりマイナス表示される場合があるため)
 ※4:4号機は使用済燃料の取り出しが完了しており、温度監視は不要。凍結防止運用のため一次系ポンプ運転(11/14~)

※注水冷却を継続することにより、1～3号機の原子炉圧力容器底部温度、格納容器気相部温度は、号機や温度計の位置によって異なるものの、至近1ヶ月において、約20℃～約30℃で推移。
 格納容器内圧力や格納容器からの放射性物質の放出量等のパラメータについては有意な変動はなく、冷却状態の異常や臨界等の兆候は確認されていない。
 以上より、総合的に冷温停止状態を維持しており、原子炉が安定状態にあることを確認。

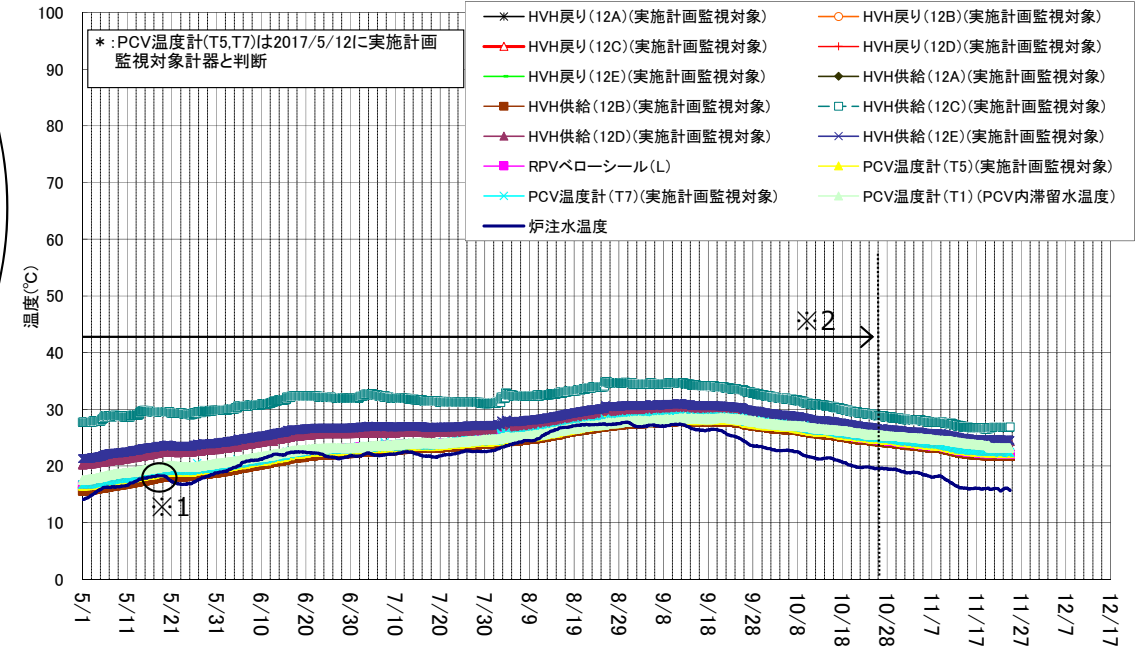
1号機



1号機 原子炉圧力容器まわり温度(5/1~11/24)



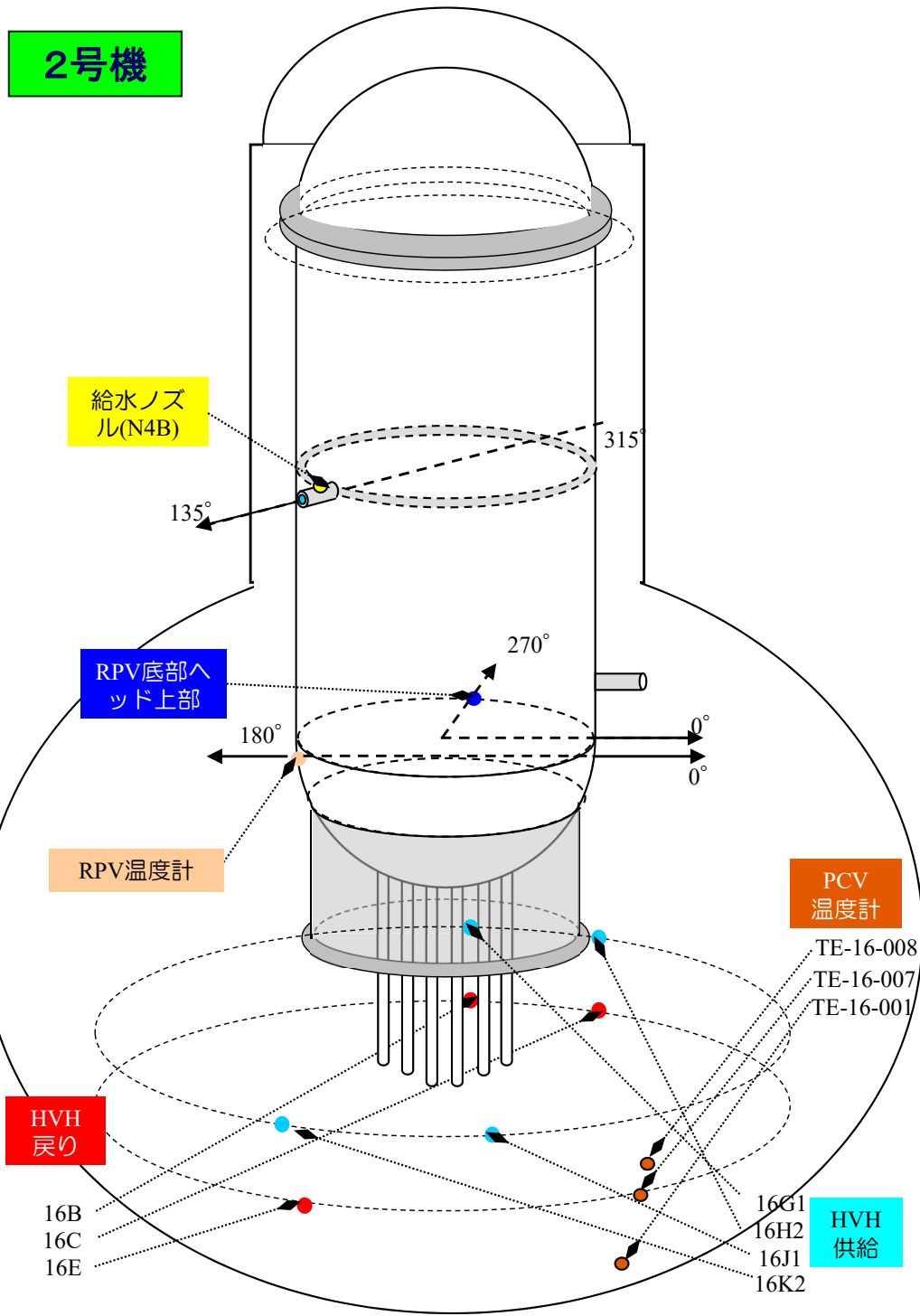
1号機 D/W雰囲気温度(5/1~11/24)



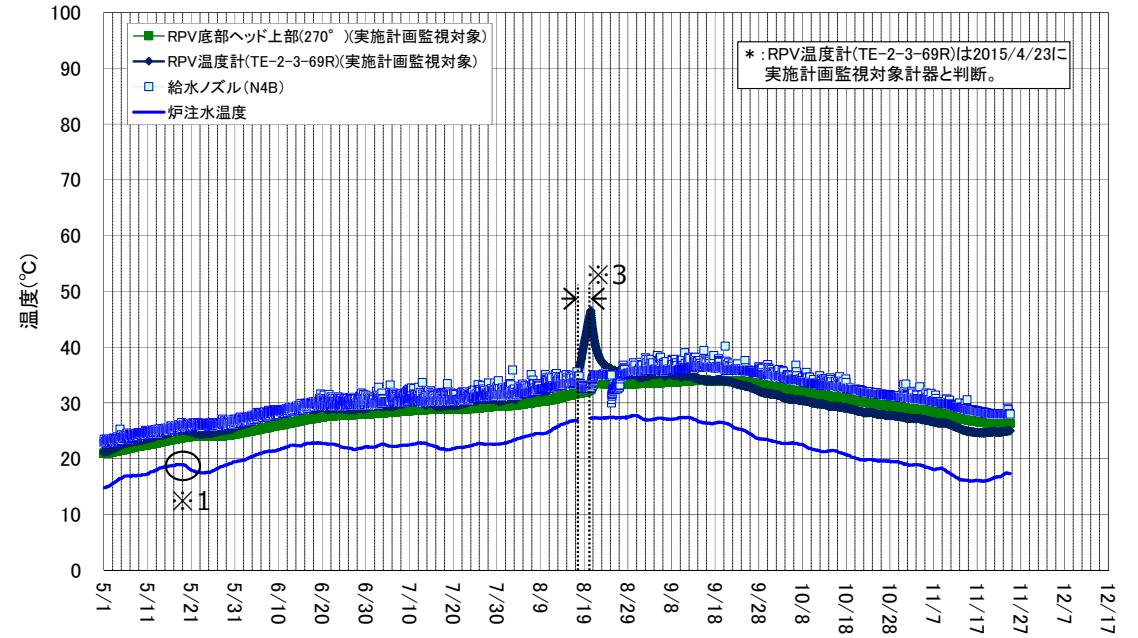
※1 炉注水ライン切り替えに伴いデータ変動

※2 4/14~10/27 PCV内減圧(期間中大気圧の変動及びAWJ作業に伴い一部の温度計のデータが変動)

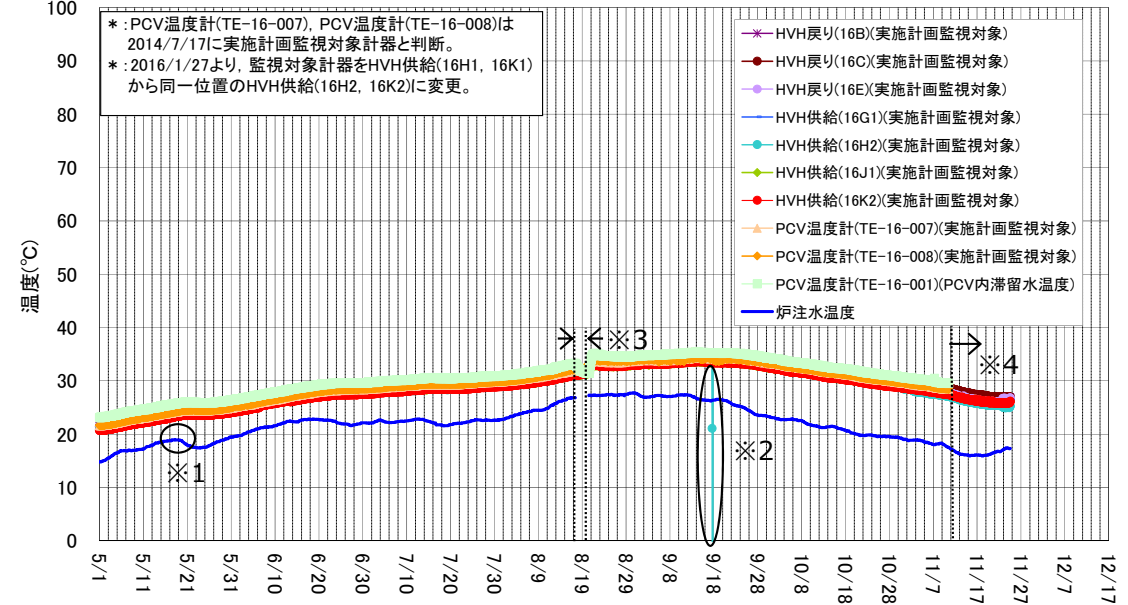
2号機



2号機 原子炉圧力容器まわり温度(5/1~11/24)



2号機 D/W雰囲気温度(5/1~11/24)

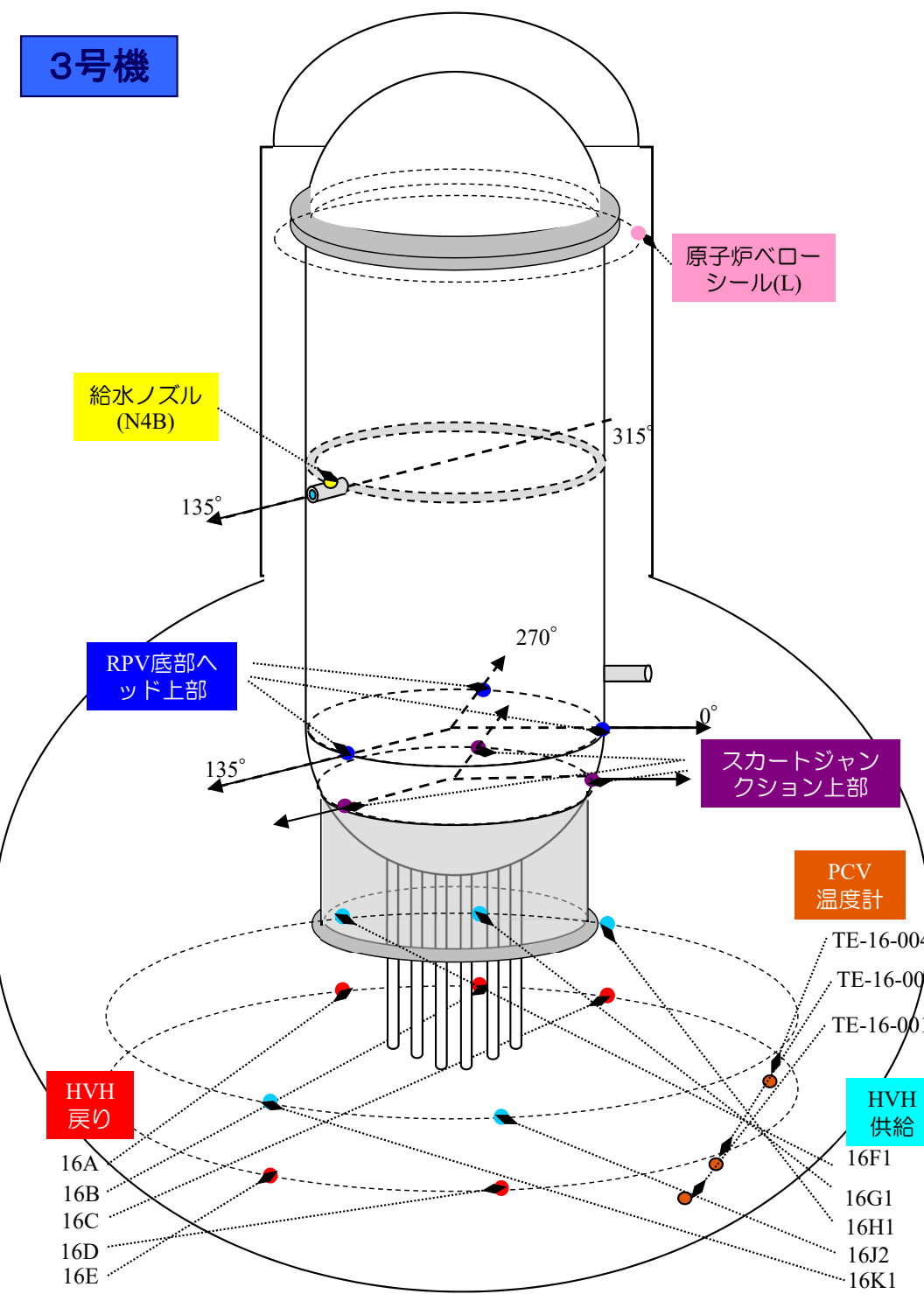


※1 炉注水ライン切り替えに伴いデータ変動
 ※2 9/17 作業に伴い、データ変動

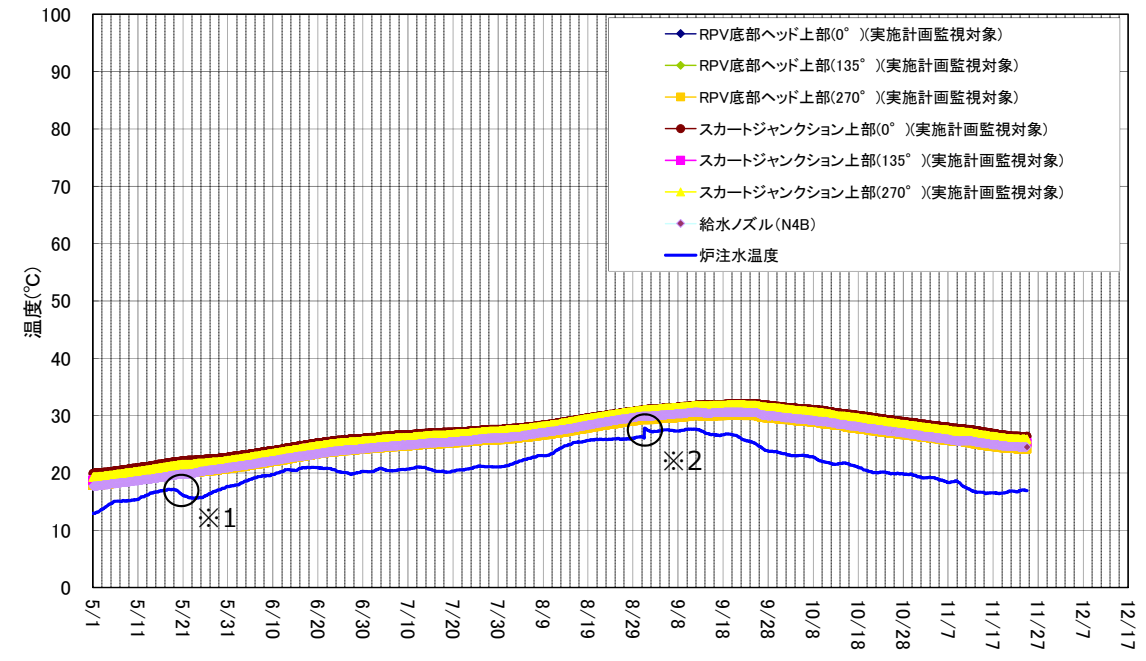
※3 8/17~20 炉注水停止に伴いデータ変動

※4 11/10~ PCV内部調査及び試験的取り出しの準備作業に伴い一部の温度計 (TE-16-001,007,008)のデータが欠測

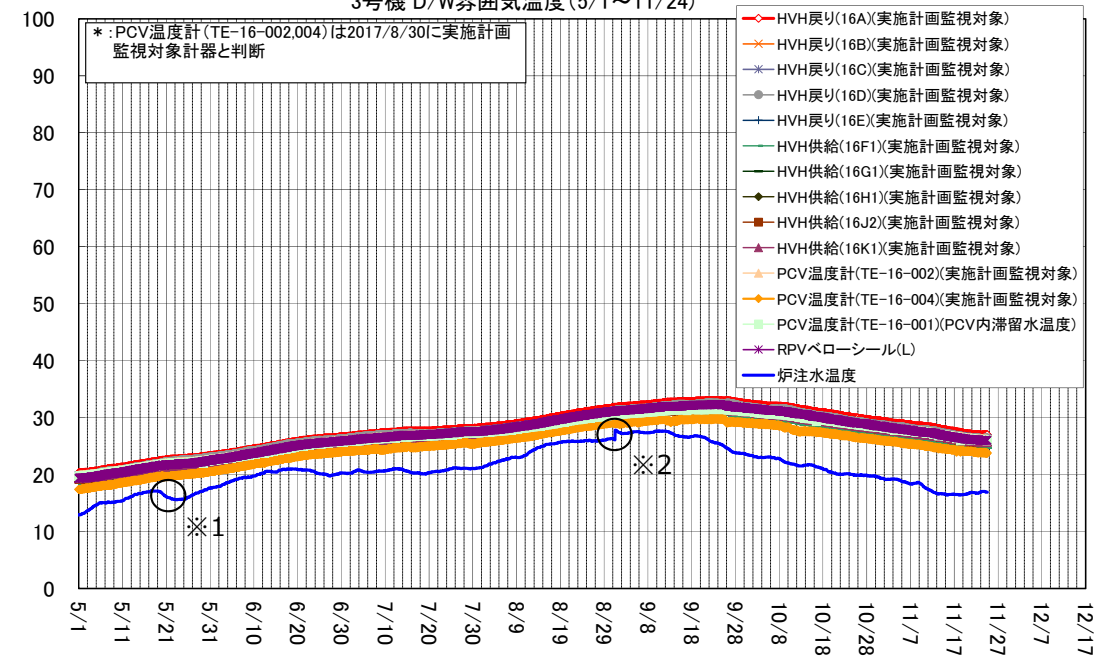
3号機



3号機 原子炉压力容器まわり温度(5/1~11/24)



3号機 D/W雰囲気温度(5/1~11/24)



※1 炉注水ライン切り替えに伴いデータ変動 ※2 8/31 計器点検に伴う変動

滞留水の貯蔵及び処理の状況概略

- ①建屋内滞留水水位及び貯蔵量
 - ・建屋内滞留水水位は運転上の制限を満足
- ②1～4号機タンク貯蔵量
 - ・淡水化装置による処理により、RO処理水(淡水)及び濃縮塩水の貯蔵量は変動あり
 - ・蒸発濃縮装置は全台停止中
- ③5, 6号機滞留水貯蔵量
 - ・構内散水によりFエリアタンク貯蔵量は変動あり
- ④廃棄物発生量
 - ・除染装置停止中のため、廃スラッジ貯蔵量は変動なし

①建屋内滞留水水位及び貯蔵量

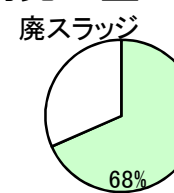
施設	貯蔵量	T/B建屋内水位
1号機	約1,070 m ³	※7
2号機	約1,940 m ³	T.P.-1,632以下
3号機	約1,920 m ³	T.P.-1,614
4号機	約20 m ³	T.P.-1,479以下
合計	約4,950 m ³	

貯蔵施設	貯蔵量	水位
プロセス主建屋	約5,760 m ³	T.P.-215
高温焼却炉建屋	約3,050 m ³	T.P.275
合計	約8,810 m ³	

(合計):+440[m³/4週] (合計):-330[m³/週]

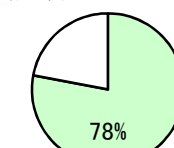
施設	貯蔵量	貯蔵容量
廃液供給タンク	928 m ³	1,200 m ³
SPT(B)	1,885 m ³	3,100 m ³
合計	+317[m ³ /4週]	+1069[m ³ /週]

④廃棄物発生量



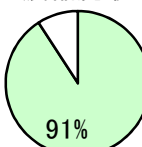
保管量:479/700[m³]*3

使用済ベッセル



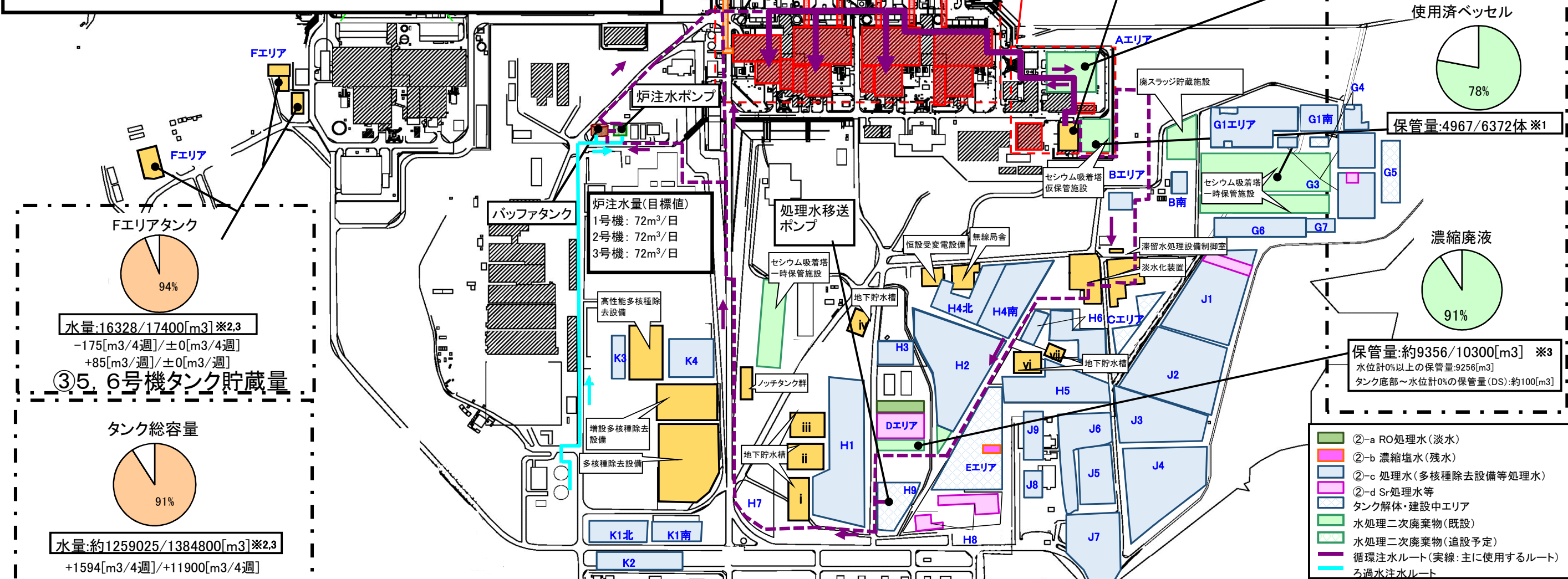
保管量:4967/6372体*1

濃縮廃液



保管量:約9356/10300[m³]*3
水位計0%以上の保管量:9256[m³]
タンク底部～水位計0%の保管量(DS):約100[m³]

- ②-a RO処理水(淡水)
- ②-b 濃縮塩水(残水)
- ②-c 処理水(多核種除去設備等処理水)
- ②-d Sr処理水等
- タンク解体・建設中エリア
- 水処理二次廃棄物(既設)
- 水処理二次廃棄物(追設予定)
- 循環注水ルート(実線:主に使用するルート)
- ろ過水注水ルート



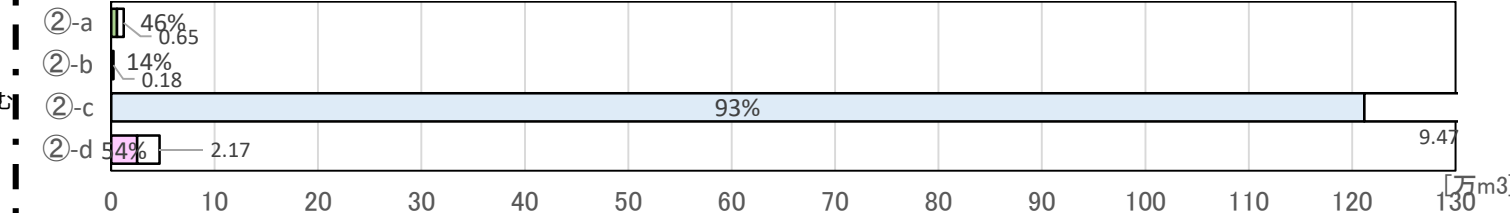
③5, 6号機タンク貯蔵量

水量:16328/17400[m³]*2.3
-175[m³/4週]/±0[m³/4週]
+85[m³/週]/±0[m³/週]

タンク総容量

水量:約1259025/1384800[m³]*2.3
+1594[m³/4週]/+11900[m³/4週]
+109[m³/週]/+2600[m³/週]

- ②タンク貯蔵量合計(②+③)
- ※1 第二セシウム吸着装置使用済ベッセル及び多核種除去設備の保管容器、処理カラム及びモバイル式処理装置使用済ベッセルを含む
 - ※2 装置稼働中につき水位が安定しないため参考扱い
 - ※3 貯蔵容量は運用上の上限を示す(タンクの貯蔵容量は10の位を切り捨てて表記。端数処理上、水量の総和と異なる場合がある)
 - ※4 多核種除去設備等(ホット試験中)の処理済水を貯蔵するが、タンクの運用状況に応じて淡水や濃縮塩水を貯蔵
 - ※5 ウェルポイント・地下水ドレン(約50m³/週)、共用プールから高温焼却炉建屋への移送量(約30m³/週)、その他移送量(約110m³/週)の合計190m³/週を含む(端数処理上、各移送量の総和と異なる場合がある)
 - ※6 放射性物質濃度が高い多核種除去設備B系出口水を含む
 - ※7 1号機T/Bはすでに水抜きが完了しているため、水位を「-」表記
 - ※8 フランジ型タンクに貯蔵するSr処理水の処理完了(2018/11/17)フランジ型タンクに貯蔵する多核種除去設備等処理済水の移送完了(2019/3/27)。引き続き、残水処理を進める観点から、以後、フランジ型タンクのタンク底部～水位計0%の水量(DS)は水位計0%以上の水量に含める



タンク	貯蔵量	水位
②-a RO処理水(淡水)	水量:約5529/12000[m ³]*2.3 水位計0%以上の水量:5429[m ³] タンク底部～水位計0%の水量(DS):約100[m ³]	-914[m ³ /4週]/±0[m ³ /4週] -183[m ³ /週]/±0[m ³ /週]
②-b 濃縮塩水(残水)	水量:約300/2100[m ³]*2.3 水位計0%以上の水量:約200[m ³] タンク底部～水位計0%の水量(DS):約100[m ³]	-206[m ³ /4週]/±0[m ³ /4週] -95[m ³ /週]/±0[m ³ /週]
②-c 処理水(多核種除去設備等処理済水)	水量:約1211875/1306600[m ³]*2.3,4,6 水位計0%以上の水量:1209675[m ³]*2,3,4,6 タンク底部～水位計0%の水量(DS):約2200[m ³]*8	+2760[m ³ /4週]/+39400[m ³ /4週] +1044[m ³ /週]/+18800[m ³ /週]
②-d Sr処理水等	水量:約24999/46700[m ³]*2.3 水位計0%以上の水量:24699[m ³]*8 タンク底部～水位計0%の水量(DS):約300[m ³]*8	+129[m ³ /4週]/-27500[m ³ /4週] -742[m ³ /週]/-16200[m ³ /週]

1～4号機タンク総容量

水量:約1259270[m³]*5
+2116[m³/4週]
+763[m³/週]

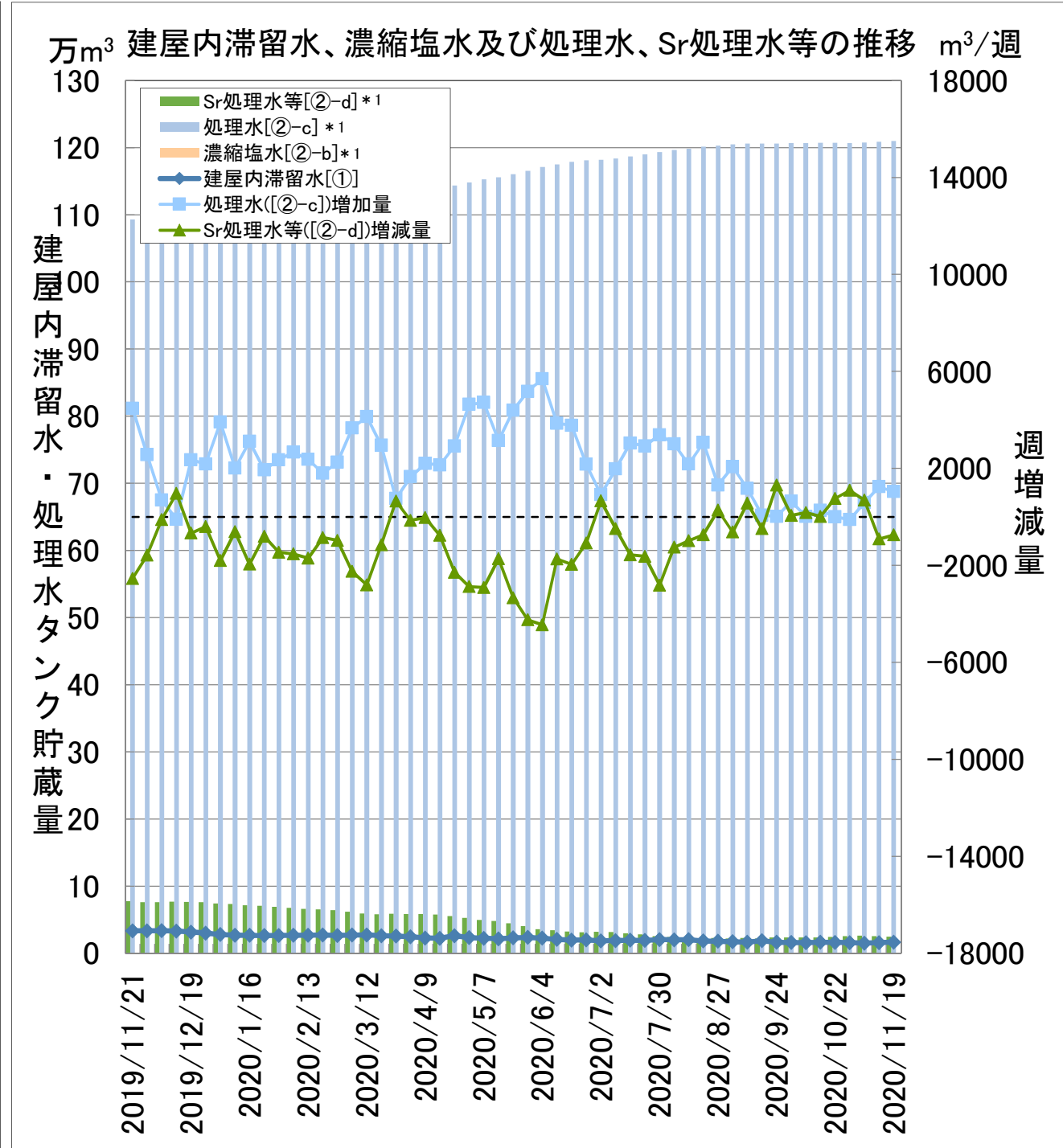
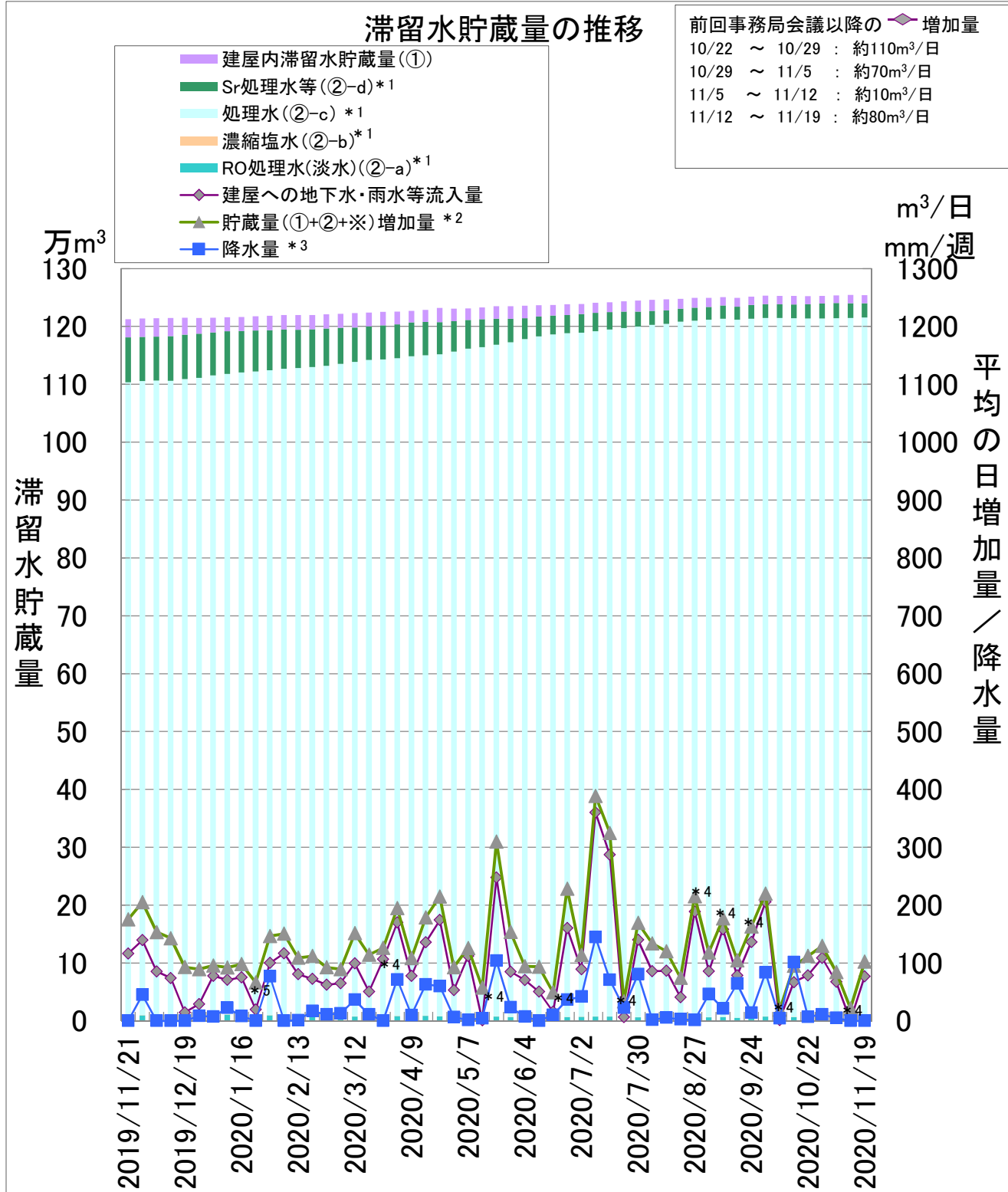
建屋内貯蔵量 + 1～4号機タンク貯蔵量(①+②)

水量:約1242697/1367400[m³]*2.3,4
水位計0%以上の水量:1239973[m³]
タンク底部～水位計0%の水量(DS):約2724[m³]

+1769[m³/4週]/+11900[m³/4週]
+24[m³/週]/+2600[m³/週]

②1～4号機タンク貯蔵量

滞留水の貯蔵状況の推移



- ①: 建屋内滞留水貯蔵量(1~4号機、プロセス主建屋、高温焼却炉建屋、廃液供給タンク、SPT(B))
 ②: 1~4号機タンク貯蔵量(〔②-a〕RO処理水(淡水))+〔②-b〕濃縮塩水+〔②-c〕処理水+〔②-d〕Sr処理水等))
 ※: タンク底部から水位計0%までの水量(DS)

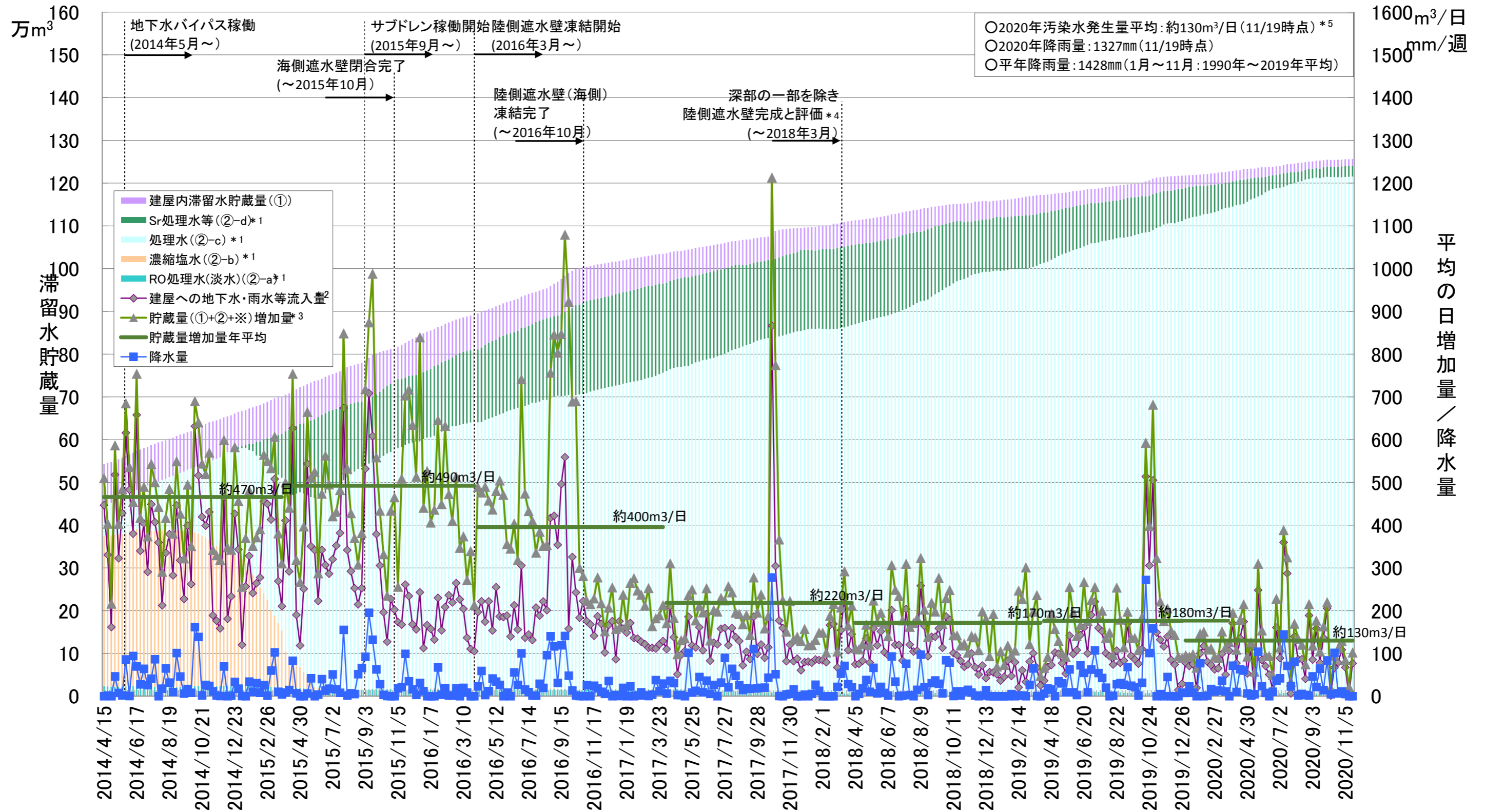
*1: 水位計0%以上の水量
 *2: 貯蔵量増加量の精度向上として、2017/2/9より算出方法を以下の通り見直し。(2018/3/1見直し実施)
 [(建屋への地下水・雨水等流入量)+(その他移送量)+(ALPS薬液注入量)]
 *3: 2018/12/13より浪江地点の降水量から1F構内の降水量に変更。
 *4: 建屋内滞留水の水位低下の影響で、評価上、建屋への地下水・雨水等流入量が一時的に変動したものと推定。(2020/3/18,5/7~14,6/11~18,7/16~23,8/20~27,9/3~10,9/17~24,10/1~8,11/12-19)
 *5: 2019/1/16~23集計分より4号機R/B水位低下に伴いR/B滞留水へ流出するS/C内系統水量について、廃炉作業に伴い発生する移送量に加え、建屋への地下水・雨水等流入量へ反映

多核種除去設備等の稼働状況

設備	期間処理水 ^{注1,4)}		定格処理量
	[m³/週] ^{注2)}	[m³/4週]	[m³/日]
既設多核種除去設備	304	709	750以上
増設多核種除去設備	918	2,797	750以上
高性能多核種除去設備	0	0	500以上
高性能 検証試験装置	0	0	50
合計	1,222	3,506	

注1) 処理量は全て出口積算流量計から算出しており、薬液注入量を含む。
 注2) 処理量の内訳はRO濃縮塩水処理量0m³、Sr処理水処理量1,185m³、処理水処理量0m³、薬液注入量他37m³^{注3)}。
 注3) 処理水を用いて粉体を溶かし生成している薬液量(20m³)を含む。
 注4) 処理水増加量を基にした算出方法から、設備の出口積算流量計を基にした算出方法に、2020年11月26日より見直し。

滞留水の貯蔵状況の推移(長期グラフ)



①: 建屋内滞留水貯蔵量(1~4号機、プロセス主建屋、高温焼却炉建屋、廃液供給タンク、SPT(B))

②: 1~4号機タンク貯蔵量

(〔②-aRO処理水(淡水)〕+〔②-b濃縮塩水〕+〔②-c処理水〕+〔②-dSr処理水等〕)

※: タンク底部から水位計0%までの水量(DS)

*1: 水位計0%以上の水量

*2: 貯蔵量増加量の精度向上として、2017/2/9より算出方法を以下の通り見直し。(2018/3/1見直し実施)
〔(建屋への地下水・雨水等流入量)+(其他移送量)+(ALPS薬液注入量)〕

*3: 2018/12/6まで浪江地点の降水量を使用していたが、2018/12/13より1F構内の降水量に変更

*4: 深部未凍結箇所3箇所については、2018年9月までに凍結完了

*5: 福島第一原子力発電所の廃炉に向けた中長期ロードマップ上、平均的な降雨に対して、2020年内に汚染水発生量を150m³/日程度に抑制することを目標としている。

各エリア別タンク一覧

(2020年11月19日 現在)

※下線部は前回事務局会議資料からの変更点

堰エリア	基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備 考
B	10	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
	27	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
B南	7	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
D	19	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)	
	12	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	RO処理水(淡水)	
E	2	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	残水処理中
G1	61	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
G1南	8	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
	15	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G3東	24	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G3西	37	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	Sr処理水等より再利用
	2	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C、R)	多核種除去設備処理済水に再利用 16基アウトオブサービス
G3北	6	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G4南	22	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
G6	38	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
G7	10	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
H1	63	1220	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	
H1東	24	1220	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H2	44	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H3	10	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
H4北	35	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H4南	13	1060	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
	38	1140	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H5	32	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
H6(I)	11	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H6(II)	24	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H8北	5	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)	
H8南	11	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(R)	
J1	90	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
	2	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 (高性能検証試験装置)	
	8	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)	

掘エリア	基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備 考
J2	42	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
J3	22	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	
J4	30	2900	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	
	5	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
J5	35	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
J6	38	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
J7	42	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	
J8	9	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
J9	12	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
K1北	12	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(高性能)	
K1南	10	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	Sr処理水等より再利用
	0	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(R)	多核種除去設備処理済水に再利用 10基アウトオブサービス
K2	28	1057	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
K3	12	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
K4	35	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
多核種除去設備	4	1100	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
高性能多核種 除去設備	3	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(高性能)	
増設多核種除 去設備	3	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
合計	1052			Sr処理水等内訳 C:セシウム吸着装置等、R:RO濃縮水処理設備	

D	10	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	濃縮廃液	
H2	3	100	鋼製横置きタンク(溶接)	濃縮廃液	

	基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備 考
F2	6	35	鋼製角型タンク(溶接)	5、6号機滞留水	Aタンク
	6	42	鋼製角型タンク(溶接)	5、6号機滞留水	Aタンク
	4	110	鋼製角型タンク(溶接+フランジ接合)	5、6号機滞留水	Bタンク
	5	160	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5、6号機滞留水	Cタンク
	2	200	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5、6号機滞留水	Cタンク
F1	3	299	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5、6号機滞留水	hijタンク
	18	508	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5、6号機滞留水	hijタンク
	5	1100	鋼製円筒型タンク(溶接)	5、6号機滞留水	Kタンク
	1	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	5、6号機滞留水	Nタンク
合計	50				

H3	9	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	地下水	
----	---	------	------------------	-----	--

滞留水の貯蔵状況の推移における 一部表現の見直しについて

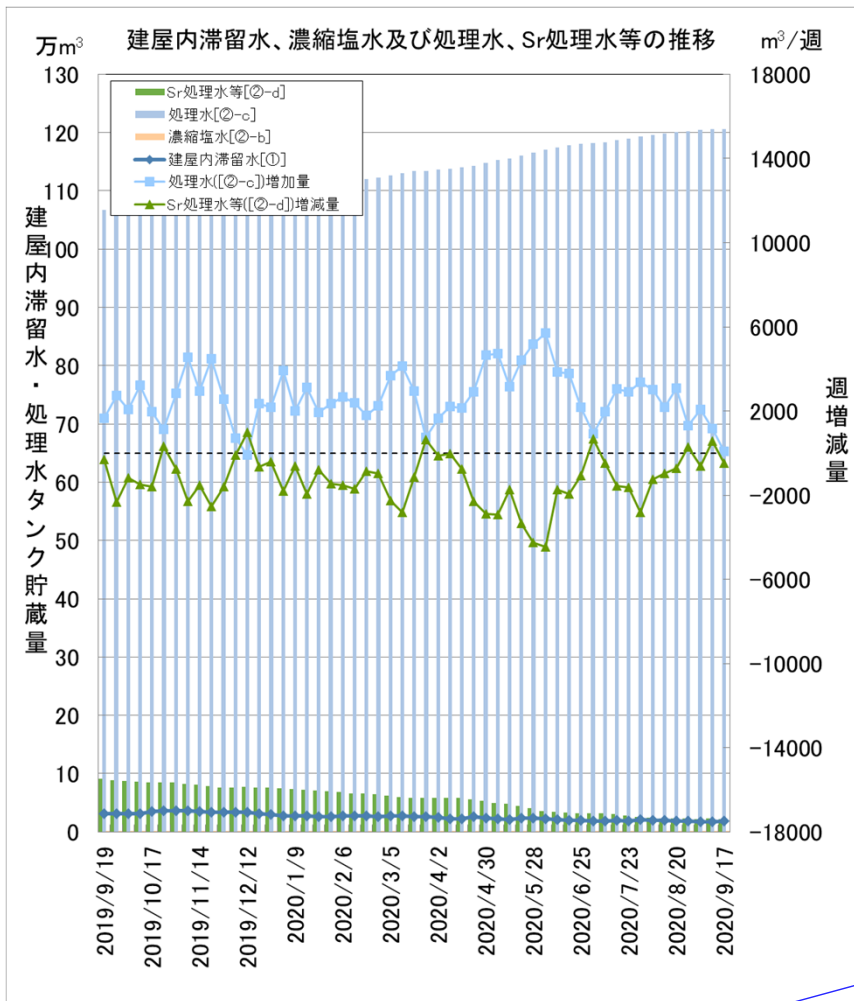
2020年11月26日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

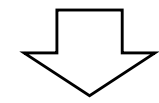
1. 滞留水の貯蔵状況の推移について

(2020年9月24日 廃炉・汚染水対策チーム会合事務局会議資料)



これまで

- 滞留水の貯蔵状況の推移は、至近1年の各種滞留水の状況を経時的に示しており、主なりスク源である濃縮塩水やストロンチウム処理水等の処理が順調に進んでいることを確認している。
- 同様に多核種除去設備やセシウム吸着装置等の処理設備が、順調に稼働しているのか確認するため、設備の期間処理水の量等を示している。



事象の変化と課題

- 二次処理の性能確認試験を実施したところ、「多核種除去設備での期間処理水の量」と「貯蔵している処理水の増加量」が一致しなくなった。これまでの表記では、設備の稼働状況を適切に確認出来なくなった。

貯蔵している処理水の量は +73 m³だが、二次処理を含めた期間処理量 (889 m³) は、示すことが出来なかった。

- 以上のことを踏まえ、設備の期間処理水等の示し方について、見直し。

処理水	累積処理水	期間処理水		定格処理量
	[m3]	[m3/週]	[m3/日] ^(注1)	[m3/日]
既設多核種除去設備 ^(注2)	455,058	42	6	750以上
増設多核種除去設備 ^(注2)	681,943	31	4	750以上
高性能多核種除去設備	102,556	0	0	500以上
高性能 検証試験装置	1,128	0	0	50
Sr処理水等	期間処理水		定格処理量	
	[m3/週]	[m3/日] ^(注1)	[m3/日]	
	セシウム吸着装置	0	600	
	第二セシウム吸着装置	0	1200	
第三セシウム吸着装置			600	

2. 見直しについて

<多核種除去設備の期間処理水の示し方について>

- 設備の稼働状況を示す方法として、多核種除去設備の出口流量計の値とする。
- 出口流量計を基にした評価とすることにより、多核種除去設備等処理水の二次処理の実施等による、設備の処理状況についても示すことが可能となる。

【これまで：
貯蔵している処理水増加量を基にして算出】

【見直し後：
設備の出口流量計を基にして算出】

処理水	累積処理水	期間処理水		定格処理量
	[m3]	[m3/週]	[m3/日] ^{注1)}	[m3/日]
既設多核種除去設備 ^{注2)}	455,058	42	6	750以上
増設多核種除去設備 ^{注2)}	681,943	31	4	750以上
高性能多核種除去設備	102,556	0	0	500以上
高性能 検証試験装置	1,128	0	0	50

注1) 週間の平均値

注2) 既設・増設多核種除去設備処理水の一部は、残水があるRO濃縮塩水タンクに移送し、Sr処理水等として貯蔵

多核種除去設備等の稼働状況			
設備	期間処理水 ^{注1,4)}		定格処理量
	[m3/週] ^{注2)}	[m3/4週]	[m3/日]
既設多核種除去設備	506	●	750以上
増設多核種除去設備	383	●	750以上
高性能多核種除去設備	0	●	500以上
高性能 検証試験装置	0	●	50
合計	889	●	

注1) 出口積算流量計の値。薬液注入量を含む

注2) 内訳はRO濃縮塩水処理量0m³、Sr処理水処理量445m³、
処理水処理量358m³、薬液注入量他86m³^{注3)}

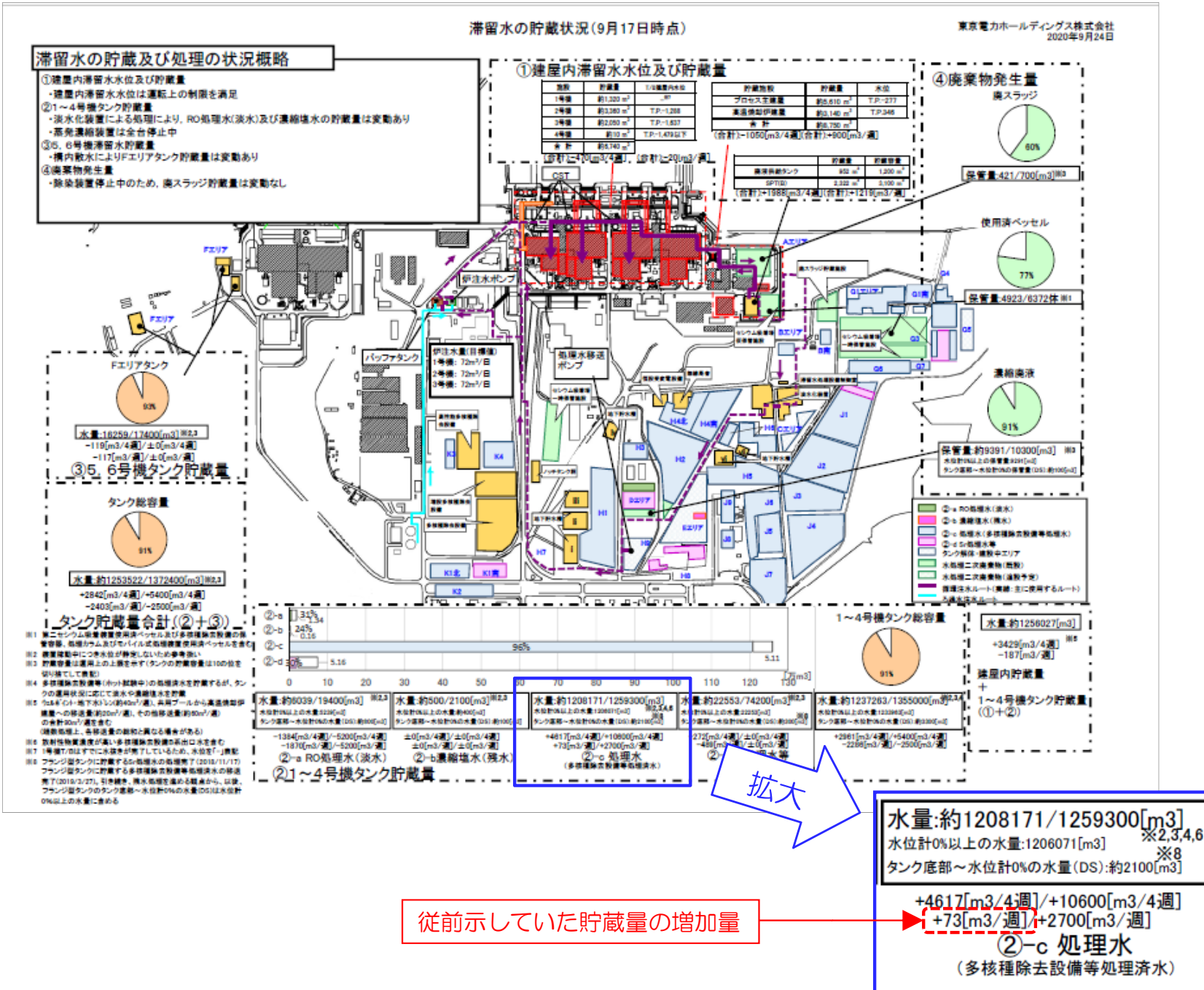
注3) 処理水を用いて粉体を溶かし生成している薬液量(16m³)を含む

注4) 処理水増加量を基にした算出方法から、設備の出口積算流量計を
基にした算出方法に、2020年11月26日より見直し。

- なお、従前示していた“期間処理水”＝“貯蔵している処理水の増加量”
については、「参考。滞留水の貯蔵状況」にて確認可能。

参考. 滞留水の貯蔵状況

(参考：2020年9月24日 廃炉・汚染水対策チーム会合事務局会議資料)



汚染水等構内溜まり水の状況（2020.11.19時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
1-1	2号機大物搬入口屋上	・2号機大物搬入口屋上	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【2階】 Cs134:<1.0E1 Cs137:2.1E1 全β:2.6E1 H3:1.0E2 (2015.11.2) 【1階】 Cs134:1.1E1 Cs137:4.0E1 全β:4.1E1 H3:1.1E2 (2015.11.2)	
1-2	2号機R/B	2号機R/B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【上屋】 Cs134:200~340 Cs137:650~1100 全β:920~1900 Sr90:10~20 H3:ND(<100) (2015.1.16)	
2	5.6号機貯留タンク(フランジタンク)	・5.6号機貯留タンク(フランジタンク)	6号機北側	約10,300 (2020.9時点)	Cs134:2.3E0 Cs137:4.6E1 (2020.10.1)	5・6号建屋滞留水・RO処理水を貯留 (5・6号機建屋滞留水処理設備として運用中のため、量は変動する)
3	5.6号機貯留タンク(溶接タンク)	・5.6号機貯留タンク(溶接タンク)	6号機北側	約6,000 (2020.9.17時点)	Cs134:7.7E0 Cs137:4.3E1 (2016.10.3)	5・6号建屋滞留水を貯留
4-1	吸着塔一時保管施設(HIC)	・吸着塔一時保管施設(第二施設、第三施設)	・吸着塔一時保管施設(第一施設、第二施設、第三施設)	0 (ボックスカルバート内の水は拭き取り実施済み、HIC内上澄み水水抜き実施済み) (2018.9)	—	水抜き済
4-2	吸着塔一時保管施設	水処理二次廃棄物(SARRY、KURION、ALPS処理カラム、モバイル式処理装置)	吸着塔一時保管施設(第一施設、第二施設、第四施設)	1程度(1基あたり)	Cs137:2.0E3~1.6E7 Sr90:5.3E3~4.3E7 (2017.2~2017.3)	
5	No.1ろ過水タンク(RO濃縮塩水/溶接タンク)	・No.1ろ過水タンク(RO濃縮塩水/溶接タンク)	屋外(タンクエリア)	0 (2015年8月水抜き完了)	—	過去、RO濃縮水を貯留 現在は水抜き済
6	4000tノッチタンク(角型タンク)	・4000tノッチタンク	タンクエリア	0 (2018.5.7時点)	【3000tノッチタンク】 撤去済 【1000tノッチタンク】 水抜き済	水抜き済
7	濃縮水タンク(蒸発濃縮装置濃廃水)	蒸発濃縮装置濃縮水用ノッチタンク(スラリー/濃縮水)	タンクエリア(Cエリア)	約65※1 (2019.2.1時点)	【蒸発濃縮装置濃廃水】 Cs134:1.7E4 Cs137:2.5E4 全β:4.7E8 (2011.12.20)	蒸発濃縮装置濃縮水を貯留 ※1:全5タンクの水量を 実測して算出
8	淡水貯留タンク(G1エリア地下タンク)	・淡水貯留タンク(横置きタンク)	タンクエリア	— (2017.8時点)	—	撤去済
9	5、6号機逆洗弁ピット及び吐出弁ピット	・5号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	5号機スクリーン近傍	約550	(2016.10.5) Cs134:ND Cs137:3.4E0	
		・6号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	6号機スクリーン近傍	約850	(2016.10.5) Cs134:ND Cs137:3.7E0	
		・5号機逆洗弁ピット	5号タービン建屋海側	約1,500	(2016.10.3) Cs134:3.0E0 Cs137:1.9E1	
		・6号機逆洗弁ピット	6号タービン建屋海側	約1,500	(2016.10.3) Cs134:1.5E0 Cs137:1.1E1	

汚染水等構内溜まり水の状況（2020.11.19時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
10	1～4号機T/B屋根	・1号機T/B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【1号機T/B上屋】 Cs134:ND Cs137:4.9E1 (2020.7.29) ND 3.8E1 (2020.10.12) 全β: 4.4E1 (2020.7.29)	
		・2号機T/B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【2号機T/B上屋】 Cs134:ND Cs137:ND (2020.7.29) ND 4.7E1 (2020.10.12) 全β: 8.9E0 (2020.7.29)	
11	1号CSTタンク (溶接タンク)	・1号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約740 (2016.10.26)	Cs134:2.9E+4 Cs137:1.9E+5 全β: 2.2E+5 (2016.11.7)	RO処理水を貯留
12	2号CSTタンク (溶接タンク)	・2号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1,850 (2020.3.19)	【CST入口水(淡水化装置出口水)】 (2020.8.4) H3:4.2E5 Sr90:ND (2020.9.8) 4.0E5 ND 【2号CSTタンク貯留水】 Cs134:1.6E+02 Cs137:1.7E+03 (2018.12.14)	2020.3.18より炉注水源としての運用開始 (1～3号機CST炉注水ポンプ水源として運用中のため、量は変動する)
13	3号CSTタンク (溶接タンク)	・3号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1,800 (2020.1.16)	全β: 1.5E+03 (2018.12.19) 【3号CSTタンク貯留水】 (2020.7.16) Cs134:1.9E+2 Cs137:3.5E+3 全β: 6.3E+3 H3: 7.5E+5	RO処理水を貯留 (1～3号機CST炉注水ポンプ水源として運用中のため、量は変動する)
14	4号CSTタンク (溶接タンク)	4号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	0	—	水抜き済
15	地下貯水槽	地下貯水槽No. 1	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 1.3E6 (2018.9.12) (参考:漏えい検知孔水) 全β: 1.0E4 (2020.10.6) H3: ND (2019.9.4)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
16	地下貯水槽	地下貯水槽No. 2	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 3.1E6 (2018.9.12) (参考:漏えい検知孔水) 全β: 7.5E3 (2020.10.7) H3: ND (2019.9.4)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
17	地下貯水槽	地下貯水槽No. 3	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 3.2E6 (2018.9.11) (参考:漏えい検知孔水) 全β: 3.6E3 (2020.10.9) H3: ND (2019.9.5)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
18	地下貯水槽	地下貯水槽No. 4	タンクエリア	—	【タンク堰内雨水貯水実績あり】 全β: 2.8E4 (2018.9.12)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
19	地下貯水槽	地下貯水槽No. 5	タンクエリア	撤去完了	【使用実績なし(水張試験のみ)】 —	撤去済
20	地下貯水槽	地下貯水槽No. 6	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 7.8E6 (2018.9.11) (参考:漏えい検知孔水) 全β: 4.5E1 (2019.9.5) H3: ND (2019.9.5)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)

汚染水等構内溜まり水の状況（2020.11.19時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
21	地下貯水槽	地下貯水槽No. 7	タンクエリア	—	【タンク堰内雨水貯水実績あり】 全β：1.5E2 (2018.9.12)	水位計の計測限界水深未満（一部残水あり） (2018.9.26時点)
22	1-4号建屋接続トレンチ	・1号機コントロールケーブルダクト ・集中環境施設廃棄物系共通配管ダクト(2号機廃棄物系共通配管ダクト) ・1号機薬品タンク連絡ダクト 等	1~4号機周辺	約1~170 (2019.12)	Cs134:ND~4.2E2 Cs137:2.5E2~6.9E3 全β：2.2E2~3.4E3 H3: ND~3.5E3 (2019.12)	量及び放射性物質濃度の内訳は添付資料(1)「2019年度トレンチ等内溜まり水調査結果一覧」を参照
23	2~4号機DG連絡ダクト	・2~4号機DG連絡ダクト	2~4号機山側	約1,600 (2019.12)	Cs134:1.1E1 Cs137:1.6E2 全β：1.9E2 H3: ND (2019.12.18)	
24-1	1号機海水配管トレンチ	・1号機海水配管トレンチ	1号機タービン建屋海側	約400 (2019.12)	Cs134:ND Cs137:6.2E1 全β：9.3E1 (2019.12.20)	
24-2	2号機海水配管トレンチ	・2号機海水配管トレンチ	2号機タービン建屋海側	0 (2019.8.2時点)	—	水抜き・充填済 (建屋接続部近傍を含む)
25-1	3号機海水配管トレンチ	・3号機海水配管トレンチ	3号機タービン建屋海側	0 ^(注) (2015.7.30時点) <small>(注)立抗D上部に水が無いことを確認(2019.12.2時点)</small>	—	充填済 (立抗D上部を除く) 立抗D上部充填作業一時中断中
25-2	4号機海水配管トレンチ	・4号機海水配管トレンチ	4号機タービン建屋海側	0 ^(注) (2015.12) <small>(注)建屋接続部及び建屋接続部近傍の開口部に水が無いことを確認(2019.9.27時点)</small>	—	充填済 (建屋接続部近傍及び建屋接続部近傍の開口部を含む)
26	3号機起動用変圧器ケーブルダクト	・3号機起動用変圧器ケーブルダクト	3号機山側	約830 (2019.12)	Cs134:4.8E1 Cs137:4.0E2 全β：4.4E2 H3: ND (2017.10)	
27	廃棄物処理建屋間連絡ダクト	・廃棄物処理建屋間連絡ダクト	プロセス主建屋北側	充填完了		充填済
28	1-4号建屋未接続トレンチ	・2号機変圧器防災用トレンチ ・消火配管トレンチ(3号機東側) ・1号機主変圧器ケーブルダクト ・1号機廃液サージタンク連絡ダクト ・1号機オフガス配管ダクト 等	1-4号機周辺	約1~830 (2018.12)	Cs134:ND~2.3E1 Cs137:7.0E0~2.7E2 全β：5.4E1~7.2E2 H3:ND~1.7E3 (2018.11~2019.1)	量及び放射性物質濃度の内訳は添付資料(2)「2018年度トレンチ等内溜まり水調査結果一覧」を参照
29	1~4号機サブドレンピット No.15,16(未復旧ピット)	・サブドレンピットNo.15,16	1~4号機周辺 「未復旧」	約20	No.16 Cs134:1.6E4 Cs137:3.6E5 全β：4.1E5 H-3:2.1E3 (2020.9.9)	
30	その他1~4号機サブドレン(ディープウェル含む)(未復旧ピット)	・1号機~4号機サブドレン	1~4号機周辺 「未復旧」	約15/ピット	No.47,48 Cs134:ND~3.9E1 Cs137:4.8E1~9.6E1 全β：7.9E1~2.8E2 H-3:ND (2014.11.10)	

汚染水等構内溜まり水の状況 (2020.11.19時点)

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
31-1	1~4号機逆洗弁ピット	・1号機逆洗弁ピット	1号タービン建屋海側	0 (2020.6.30)	—	水抜き・充填済
		・2号機逆洗弁ピット	2号タービン建屋海側	0 (2020.8.27)	—	水抜き・充填済
		・3号機逆洗弁ピット	3号タービン建屋海側	0 (2019.3.28)	—	水抜き・充填済
		・4号機逆洗弁ピット	4号タービン建屋海側	約1,400 (2018.12.12)	(2020.8.27) Cs134: 7.1E1 Cs137: 1.4E3 全β: 1.5E3 H3: 1.5E2	
31-2	1~4号機吐出弁ピット	・1号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	1号タービン建屋海側	0 (2015.11)	—	水抜き・充填済
		・4号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	4号タービン建屋海側	0 (2015.10)	—	水抜き・充填済
32	1号機放水路 (出口を閉塞済)	・1号機放水路 (出口を閉塞済)	1~4号タービン建屋海側	約4,200 (2018.12.17)	【放水路上流側立坑】 (2020.10.19) (2020.11.16) Cs134: 2.8E2 2.2E2 Cs137: 5.4E3 4.4E3 全β: 6.4E3 5.5E3 H3: 1.6E2 ND	
33	2号機放水路 (出口を閉塞済)	・2号機放水路 (出口を閉塞済)	2~4号機タービン建屋海側	約3,600 (2018.12.14)	【放水路上流側立坑】 (2020.10.19) (2020.11.16) Cs134: 4.4E1 4.2E1 Cs137: 9.6E2 7.3E2 全β: 1.3E3 9.8E2 H3: ND ND	
34	3号機放水路 (出口を閉塞済)	・3号機放水路 (出口を閉塞済)	3~4号機タービン建屋海側	約1,600 (2018.12.17)	Cs134: 3.7E1 1.9E1 Cs137: 4.7E2 4.1E2 全β: 5.6E2 5.1E2 H3: ND ND (2020.9.9) (2020.10.7)	
35	キャスク保管建屋	・キャスク保管建屋	物揚場 西側	約4,500	Cs134: 7.2 Cs137: 23 I-131: <4.3 Co-60: <4.2 全γ放射能: 3.1E+1 (2014.5.23)	
36	5号CSTタンク (溶接タンク)	・5号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1,040 (2020.9.10)	(2020.9.9) (2020.10.16) Cs134: ND ND Cs137: ND ND Co60: 3.0E2 2.9E2	プラント保有水を貯留 (プラント系統として運用 中のため量は変動する)
37	6号CSTタンク (溶接タンク)	・6号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1,630 (2020.9.10)	(2020.9.10) (2020.10.8) Cs134: ND ND Cs137: ND ND Co60: ND 2.4E1	プラント保有水を貯留 (プラント系統として運用 中のため量は変動する)
38	5/6号他 トレンチ	・5号機海水配管トレンチ ・5・6号機スチームドレン配管トレンチ ・5号機重油配管トレンチ(東側) ・5号機放射性流体用配管ダクト ・5号機主変圧器ケーブルダクト 等	5~6号機周辺	約1~1,900 (2015.10~2016.1)	Cs134: ND~2.2E2 Cs137: ND~9.9E2 (2015.10~2016.1)	

汚染水等構内溜まり水の状況（2020.11.19時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
39	5, 6号機サブドレン	・5,6号機サブドレンピット	5～6号機周辺 ※「復旧対象」	約15/ピット	Cs134: ND Cs137: ND～3.5 全β: ND～4.8 H-3: ND～140 (採水期間: 2017.10～2018.3)	
40	キャスク保管建屋サブドレン	・キャスク保管建屋サブドレン	物揚場 西側	約15/ピット	Cs134: 1.0E+1 Cs137: 1.4E+1 Co-60: <6.0E-01 全γ放射能: 2.4E+1 (2012.1.18)	
41	SPTタンク(1～4号)(A) (溶接タンク)	・SPTタンク(1～4号)(A) (溶接タンク)	SPT建屋	約2,800 (2015.3.25時点)	Cs134: 8.0E+4 Cs137: 1.6E+5 Co60: 6.5E+2 (2013.8.27)	プラント保有水等を貯留
42	集中ラド周りサブドレン	・集中ラド周りサブドレン	主プロセス建屋等 各建屋周辺	約15/ピット	Cs134: ND Cs137: ND～4.4E1 (2020.10.21) ND ND～5.4E1 (2020.11.18)	
43	メガフロート	・メガフロート	港湾内	0 (2020.2.20)	No.5VOID Cs134: ND Cs137: 2.7 Sr90: ND H3: ND (2017.2.16)	水抜き完了
44	純水タンクNo.1	・純水タンク	屋外(建屋エリア)	約850	Cs134: 2.1 Cs137: 7.2 全β: 12.2 H-3: ND (2015.5.29)	震災後、坂下ダム補給水を貯留
45	5/6号機建屋滞留水	・5/6号機建屋滞留水	5～6号機	約9,610 (2020.9.17時点)	【5号機】 Cs134: ND ND Cs137: ND 8.3E-1 H3: ND ND 全β: ND ND (2020.9.16) (2020.10.15) 【6号機】 Cs134: ND ND Cs137: 2.5E0 3.3E0 H3: ND ND 全β: ND ND (2020.9.17) (2020.10.16)	
46	排気筒ドレンサンピット	・1/2号排気筒ドレンサンピット	1～4号機周辺	約0.3 [※] ※適宜溜まり水の移送を実施	(2020.8.28) (2020.9.28) 全β: 8.9E6 1.3E7 Cs134: 4.3E5 6.3E5 Cs137: 9.2E6 1.4E7	2019.10.12以降に水位低下傾向が見られることを確認。 (2019.11.27)
		・3/4号排気筒ドレンサンピット	1～4号機周辺	約2	(2019.12.24) 全β: 7.8E2 Cs134: 3.7E1 Cs137: 5.8E2	
		・5/6号排気筒ドレンサンピット	5/6号機周辺	約7.6 (2020.3.12)	(2020.3.12) 全β: 2.2E1 Cs134: ND Cs137: 2.0E1	
		・集中RW排気筒ドレンサンピット	1～4号機周辺	約10	(2020.5.20) 全β: 2.7E2 Cs134: ND Cs137: 2.2E2	
47	固体廃棄物貯蔵庫(6～8号棟)	固体廃棄物貯蔵庫(6～8号棟)	固体廃棄物貯蔵庫 (6～8号棟)	約200	Cs-134: ND Cs-137: 5.3E+1 全β: 4.8E+1 (2017.11.10)	
48	5, 6号機海側屋外既設タンク	SPTタンク(5～6号)	物揚場 北側	<タンク> 0 (2019.11.21) <雨仕舞> 0 (2019.12.5) <ポンプ室> 0 (2019.12.12)	—	水抜き完了
49	5号R/B西側ヤードドラム缶	ステンレス製ドラム缶(内袋付)	5号R/B西側 ヤード (水素ガストレー ラーエリア)	約13	Cs134: ND Cs137: 1.4E+1 Sr90: ND H-3: ND 全β: 1.1E+01 Co60: ND (2019.5.29)	

2019年度トレンチ等内溜まり水調査結果一覧

【別紙1】

NO.	場所	今回調査 2019. 12月実施								
		溜まり水の有無	ボトル表面線量率 (μSv/h)	核種分析結果 (Bq/L)					溜まり水の区分 ※5	概算溜まり水量 水量 (m ³)
				Cs-134	Cs-137	Cs計	全β	H-3		
1- 1	水処理建屋～1号機T/B連絡ダクト	対策完了 2016. 8								
1- 2	1号機薬品タンク連絡ダクト	内部詳細点検は次回2021年度実施(1回/3年)								
1- 3	1号機放射性流体用配管ダクト	あり	0.7	4.2E+02	6.9E+03	7.3E+03	3.4E+03	1.1E+03	C	15
1- 4	1号機電源ケーブルトレンチ(OP+4.000)	対策完了 2016. 7								
	1号機電源ケーブルトレンチ(OP+7.000)	なし	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 5	1号機予備電源ケーブルダクト	対策完了 2016. 9								
1- 6	1号機海水配管トレンチ	あり※3	0.5	<7.0E+00	6.2E+01	6.2E+01	9.3E+01	<1.1E+02	C	408
1- 7	1号機共通配管ダクト(北側)	内部詳細点検は次回2021年度実施(1回/3年)								
1- 8	1号機共通配管ダクト(東側)	内部詳細点検は次回2021年度実施(1回/3年)								
1- 9	1号機コントロールケーブルダクト	あり	0.4	1.6E+01	1.9E+02	2.1E+02	2.2E+02	<1.1E+02	C	166
1- 10	1号機ホットシャワードレンタンク連絡ダクト	__※1	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 11	1号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	対策完了 2015. 11								
1- 12	2～4号機DG連絡ダクト	あり	0.7	1.1E+01	1.6E+02	1.7E+02	1.9E+02	<1.1E+02	C	1,592
1- 13	2号機放射性流体用配管ダクト	内部詳細点検は次回2021年度実施(1回/3年)								
1- 14	2号機共通配管ダクト	内部詳細点検は次回2021年度実施(1回/3年)								
1- 15	2号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	対策完了 2012. 4								
1- 16	2～3号機非常用電源ケーブル連絡ダクト	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 17	2号機電源ケーブルトレンチ	内部詳細点検は次回2021年度実施(1回/3年)								
1- 18	2号機海水配管(SW)トレンチ	対策完了 2016. 6								
1- 19	NO. 2軽油配管トレンチ	なし	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 20	2号機薬品タンク連絡ダクト	対策完了 2016. 11								
1- 21	3号機起動用変圧器ケーブルダクト	__※4	-	-	-	-	-	-	-	832
1- 22	3号機放射性流体用配管ダクト	対策完了 2019. 12								
1- 23	3号機薬品タンク連絡ダクト	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 24	3号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	対策完了 2012. 5								
1- 25	3号機オフガス配管ダクト(北側)	あり	0.7	<9.3E+00	2.5E+02	2.5E+02	2.8E+02	2.6E+02	C	5
1- 26	3号機オフガス配管ダクト(南側)	あり	0.6	9.9E+01	1.7E+03	1.8E+03	2.0E+03	<1.1E+02	C	12
1- 27	重油配管トレンチ(3, 4号機東側)	なし	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 28	3号機電源ケーブルトレンチ	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 29	4号機放射性流体用配管ダクト	あり	0.6	3.0E+01	5.0E+02	5.3E+02	6.7E+02	3.5E+03	C	1
1- 30	4号機薬品タンク連絡ダクト	対策完了 2016. 10								
1- 31	4号機海水配管(SW)トレンチ	対策完了 2016. 12								
1- 32	4号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	対策完了 2015. 11								
1-33	集中環境施設廃棄物系共通配管ダクト	あり	2.1	2.9E+01	3.8E+02	4.1E+02	4.6E+02	<1.2E+02	C	46
1- 34	共用プール連絡ダクト	対策完了 2013. 2								
1- 35	4号機オフガス配管ダクト	__※1	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 36	4号機共通配管ダクト	対策完了 2016. 12								
1- 37	廃棄物処理建屋間連絡ダクト	対策完了 2017. 7								
	廃棄物処理建屋間連絡ダクト(南側) 20151203									
	廃棄物処理建屋間連絡ダクト(北側) 20151203									
	廃棄物処理建屋間連絡ダクト(南側) 20151208									
	廃棄物処理建屋間連絡ダクト(北側) 20151208									
	廃棄物処理建屋間連絡ダクト(南側) 20151216									
	廃棄物処理建屋間連絡ダクト(南側) 20151222									
	廃棄物処理建屋間連絡ダクト(南側) 20151228									
	廃棄物処理建屋間連絡ダクト(南側) 20160106									
廃棄物処理建屋間連絡ダクト(南側) 20160113										
廃棄物処理建屋間連絡ダクト(南側) 20160120										
廃棄物処理建屋間連絡ダクト(南側) 20160127										
1- 38	4号機電源ケーブルトレンチ	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 39	4号機海水配管トレンチ	対策完了 2015. 12								
1- 40	共用プール連絡ダクト	対策完了 2016. 12								
									計	3,077

※1 高線量エリアのためアクセスができない箇所
 ※2 支障物により内部状況が確認できない箇所
 ※3 支障物、対策済み等により採取場所を変更した箇所
 ※4 凍土設備の凍結により溜まり水の状況が確認できない箇所
 ※5 溜まり水区分 A: 10⁶Bq/Lレベル以上
 (Cs計濃度) B: 10⁵Bq/Lレベル
 C: 10⁴Bq/Lレベル以下

2018年度 トレンチ等内 溜まり水調査結果一覧

【別紙1-2】

・溜まり水調査結果一覧表 (滞留水がある建屋に接続されていないトレンチ)

NO.	場所	今回調査(2018.11~2019.1)								
		溜まり水の有無	ボトル表面線量率 (μSv/h)	核種分析結果(Bq/L)					溜まり水の区分 ※8	概算溜まり水量 水量(m ³)
				Cs-134	Cs-137	Cs計	全β	H-3		
2- 1	NO.1軽油配管トレンチ	なし	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 2	1~2号機ケーブルダクト	なし	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 3	重油配管トレンチ(1号機PPゲート南側)	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 4	1号機ボイラー室電気品室連絡トレンチ	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 5	1~4号機発電機注入用窒素ガスボンベ室連絡トレンチ	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 6	重油配管トレンチ(1号機東側)	あり※2	-	-	-	-	-	-	-	6
2- 7	1号機主変圧器ケーブルダクト	あり	1.8	1.5E+01	1.7E+02	1.9E+02	1.9E+02	<1.1E+02	C	505
2- 8	1号機起動用変圧器ケーブルダクト	あり	1.4	7.5E+00	9.5E+01	1.0E+02	1.3E+02	1.2E+02	C	293
2- 9	1号機変圧器防災用トレンチ	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 10	1号機廃液サージタンク連絡ダクト	なし	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 11	1号機オフガス配管ダクト	なし	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 12	1号機活性炭ホールドアップダクト	あり	1.3	2.3E+01	2.7E+02	3.0E+02	3.2E+02	<1.2E+02	C	172
2- 13	1~4号機共用所内ボイラトレンチ	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 14	2号機主変圧器ケーブルダクト	あり	1.4	3.5E+00	5.8E+01	6.1E+01	7.6E+01	<1.2E+02	C	606
2- 15	2号機変圧器防災用トレンチ	あり	3.1	1.7E+01	1.6E+02	1.8E+02	7.2E+02	1.7E+03	C	1
2- 16	2号機オフガス配管ダクト	__※1	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 17	2号機廃液サージタンク連絡ダクト	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 18	2~3号機共用所内ボイラトレンチ	なし	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 19	2号機水素ガス配管トレンチ	なし	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 20	消火配管トレンチ(2~3号機T/B間)	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 21	消火配管トレンチ(2号機T/B南西側)	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 22	消火配管トレンチ(2号機R/B南側)	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 23	3号機主変圧器ケーブルダクト	あり	2.6	7.6E+00	1.1E+02	1.2E+02	1.9E+02	<1.2E+02	C	369
2- 24	3号機変圧器防災用トレンチ	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 25	3号機防災用窒素配管トレンチ	なし	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 26	3~4号機重油配管トレンチ	なし	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 27	ユーティリティ配管ダクト	なし	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 28	4号機海水配管(SW)埋設ダクト	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 29	4号機主変圧器ケーブルダクト	あり	1.0	4.5E+00	5.0E+01	5.5E+01	5.4E+01	<1.2E+02	C	828
2- 30	4号機変圧器防災用トレンチ	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 31	No.4, 5軽油配管トレンチ	あり	1.2	1.2E+01	1.4E+02	1.6E+02	1.6E+02	<1.2E+02	C	19
2- 32	4号機西側電気関係連絡トレンチ	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 33	4号機別棟機械室連絡トレンチ	なし	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 34	消火配管トレンチ(運用補助共用施設東側)	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 35	消火配管トレンチ(SPT建屋東側)	なし	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 36	消火配管トレンチ(SPT建屋北側)	あり	1.9	<1.5E+00	7.0E+00	7.0E+00	5.7E+01	1.9E+02	C	14
2- 37	消火配管トレンチ(重油タンク西側)	なし	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 38	消火配管トレンチ(2号機北西側)	なし	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 39	消火配管トレンチ(2号機西側)	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 40	酸素・水素配管トレンチ	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 41	消火配管トレンチ(2号機南西側)	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 42	消火配管トレンチ(共用所内ボイラー建屋西側)	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 43	消火配管トレンチ(3号機東側)	なし	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 44	消火配管トレンチ(3号機北側)	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 45	消火配管トレンチ(3号機西側)	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 46	消火配管トレンチ(3・4号機排気筒南側)	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 47	消火配管トレンチ(4号機北西側)	なし	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 48	消火配管トレンチ(運用補助共用施設北側)	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 49	消火配管トレンチ(4号機西側)	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 50	消火配管トレンチ(4号機南西側)	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 51	消火配管トレンチ(4号機南側)	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 52	消火配管トレンチ(放水口北側)	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 53	消火配管トレンチ(4号機東側)	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-
2-追加1	1号機逆洗弁ピット	あり	1.7	1.4E+03	1.7E+04	1.9E+04	2.0E+04	1.6E+02	C	298
2-追加2	2号機逆洗弁ピット	あり	1.8	3.9E+01	5.0E+02	5.4E+02	5.8E+02	1.6E+02	C	822
2-追加3	3号機逆洗弁ピット	あり	1.5	6.5E+02	7.5E+03	8.1E+03	8.8E+03	1.0E+03	C	828
2-追加4	4号機逆洗弁ピット	あり	1.6	6.7E+01	8.2E+02	8.9E+02	1.0E+03	1.2E+02	C	1,344
2-追加5	1号機放水路	あり	1.8	2.0E+02	2.4E+03	2.6E+03	3.2E+03	2.0E+02	C	4,166
2-追加6	2号機放水路	あり	1.7	1.0E+02	1.1E+03	1.2E+03	1.7E+03	1.7E+02	C	3,577
2-追加7	3号機放水路	あり	1.8	4.2E+01	4.6E+02	5.1E+02	5.6E+02	1.9E+02	C	1,549
2-追加8	4号機放水路	あり	1.0	2.5E+00	2.1E+01	2.3E+01	1.8E+01	<1.2E+02	C	79
計										15,476

※1 高線量エリアのためアクセスができない箇所

※2 支障物により内部状況が確認できない箇所

※3 支障物、対策済み等により採取場所を変更した箇所

※4 前回の水位測定箇所に溜まり水が無いため、測定箇所を変更した箇所

※5 トレンチ(ダクト)内全線に溜まり水があり、採水場所を2箇所から1箇所に変更した箇所

※6 一部対策済みにより溜まり水が無い箇所

※7 陸側遮水壁の影響により溜まり水の状況が確認できない箇所

※8 溜まり水区分 A: 10⁶Bq/Lレベル以上

(Cs計濃度) B: 10⁵Bq/Lレベル

C: 10⁴Bq/Lレベル以下